



HbA1c 国際標準化 (NGSP 値) 単独表記へ変更 のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

既にご承知と思われませんが日本糖尿病学会から「平成 25 年度以降における HbA1c 国際標準化の運用計画」が発表された事により、本年 4 月以降、特定健診・保健指導における HbA1c 値の表記が NGSP 値に統一されます。

又、日常臨床等においても平成 26 年 4 月以降「我が国において使用される HbA1c の表記はすべて NGSP 値のみとする」とあり、弊社内検討の結果、日本糖尿病学会の基本方針に準じ日常臨床・特定健診全ての HbA1c 値の表記を NGSP 値単独表記に統一させていただく事に致しました。暫定的な JDS 値との併記報告を停止いたしますので、取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

変更内容

● HbA1c の報告を NGSP 値単独表記に変更

HbA1c のご依頼は、517「HbA1c (NGSP)」となります。

項目 コード	項目名称	基準範囲 (単位)
517	HbA1c (NGSP)	4.6%~6.2%
519	HbA1c (JDS)	受託及び併記中止

総合検査のご案内 P15 参照

● 変更期日

平成 25 年 4 月 1 日 (月) 受付日分より

● 平成 25 年度以降における HbA1c 国際標準化の運用計画 (日本糖尿病学会) より引用

基本方針

平成 25 年 4 月 1 日をもって、日常臨床・健診等全ての分野で NGSP 値の使用がなされることから NGSP 値単独表記・使用を推進する。

平成 26 年 4 月 1 日以降、我が国において使用される HbA1c の表記はすべて NGSP 値のみとする。

日常臨床等における JDS 値の併記は原則として同日以降行わない。

運用計画

- (1) 日常臨床等において、NGSP 値の単独表記を推進する。現在、併記されている施設においては、単独表記に向けて平成 26 年 4 月 1 日までに移行を完了する。
- (2) 特定健診については、厚生労働省「実務担当者による特定健診・特定保健指導に関するワーキンググループ」において確認合意されたとおり、平成 25 年 4 月 1 日から保険者・受診者への結果報告のいずれも、NGSP 値のみで行う。
検査機関（登録衛生検査所）が特定健診のフォーマットに結果を記載(印字)して医療機関に返却する場合も NGSP 値のみで行う。
- (3) 日常臨床・健診等全ての分野で NGSP 値の使用がなされる平成 25 年 4 月以降の日常臨床等における単独表記推進、平成 26 年 4 月 1 日までの完全移行については、我が国の関係諸機関・団体に対し、本運用計画への協力要請および、本運用計画の周知を十分に行う。
- (4) 受診者への結果通知は、ほとんどの場合 NGSP 値単独になるものと思われるので、受診者が自ら過去のデータとの比較ができるように、NGSP 値から JDS 値への換算や HbA1c の意味についての啓発資料を日本糖尿病学会が準備する。